平成１７年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号）	提案機関名	県央地域農業改良普及センター
６９ ※記入不要		

要望問題　水稲種子浸種液の排液処理技術の確立

要望問題の内容　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】

１　背景

管内の育苗施設での水稲の種子消毒は、塗沫処理が普及したため、消毒液の排液は排出されなくなった。しかし、浸種液の排液の低コストで省力的処理方法は確立されていない。

２　内容

浸種液の排液の低コストで省力的処理方法の確立。

３　対象地域および規模

県央地域管内育苗センター（５カ所：約90,000箱）

県央地域管内一般水稲栽培生産者

解決希望年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
研究対応区分	①研究所対応　②委託研究　③共同研究　④その他
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所（　②根府川試験場　③三浦試験場　④津久井試験場　） ⑤畜産研究所　⑥水産総合研究所（　⑦内水面試験場　⑧相模湾試験場　） ⑨自然環境保全センター

※　ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業総合研究所
部　　署：	生産技術部
対応区分	①実施　②実施中　③継続検討　④実施済　⑤調査指導対応　⑥現地対応　⑦実施不可

試験研究課題名　（①、②、④の場合）

光触媒効果の農業分野への応用と実用化

対応の内容等

現在、大学・メーカーと共同で光触媒を利用した低コスト農薬廃液処理システム（個別農家用及び共同育苗施設用）の開発に取り組んでいます。

開発に当たっては、なるべく現地の要望を取り入れたいと考えていますのでご意見をお聞かせ下さい。また、現地試験実施の際には、ご協力をお願いします。

解決予定年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
備　考	